

科目名	仏教の生命観			担当教員	總川 祥美
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	YB1D0203/YB3D0201
期待される学修成果	「基礎教養」「態度」				
777イグ・テコングの要素	グループワーク				
実務経験	浄土真宗本願寺派僧侶（住職）・教師・輔教・教師検定試験委員				
実務経験を生かした授業内容	僧侶として、信仰者の情懷を参照しながら講義する。				
到達目標及びテーマ	「なぜ命は尊いのか」というテーマに、仏教思想を参照しながら、受講生一人ひとりが考察できるようになる。				
授業の概要	古来より人類が探求してきた「生命とは何か」というテーマについて、諸宗教や科学思想などを概観することより始め、特に仏教思想における生命観を中心に考察する。				

授業計画	
第1回	ガイダンス（授業の概略、目標、履修上の注意を理解する。）
第2回	諸宗教の生命観（世界宗教と民族宗教の生命観の違いについて理解する。）
第3回	現代科学における生命観①（DNA研究からみた生命観・祖先の記憶・・・を理解する。）
第4回	現代科学における生命観②（DNA研究からみた生命観・寿命・・・を理解する。）
第5回	仏教の生命観①-1（「縁起」・・・命のつながり・・・、「仕合わせ」について理解する。）
第6回	仏教の生命観①-2（絵本「いのちのまつり」をグループで読み聞かせし、絵本を使った保育実践を理解する。）
第7回	仏教の生命観①-3（高校の鶏解体実習を視聴し、「いただきます」という言葉の意味を理解する。）
第8回	仏教の生命観①-1（「諸行無常」・・・命のはかなさ・・・、金子みすゞの詩に表れた命への共感を理解する。）
第9回	仏教の生命観②-2（「飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ」に見られるがん患者の人生観を理解する。）
第10回	仏教の生命観②-3（「千の風になって」に見られる癒しについて理解する。）
第11回	仏教の生命観③-1（「報恩」・・・周囲の生命への感謝・・・、終末期医療の取り組み「ピハハラ」について理解する。）
第12回	仏教の生命観③-2（ドキュメンタリー「いのちを見つめる教室」を視聴し、命の尊厳性と周囲の命への感謝の思いを理解する。）
第13回	仏教の生命観③-3（東日本大震災でのボランティア活動の報告を聞いて、命の尊厳性と周囲の命への感謝の思いを理解する。）
第14回	仏教の生命観④-1（映画「生きる」（前半）を視聴し、周囲の命の尊厳性と人生の目的の探求について理解する。）
第15回	仏教の生命観④-2（映画「生きる」（後半）を視聴し、周囲の命の尊厳性と人生の目的の探求について理解する。）

事前学修	2時間	（第1回）シラバスを読むこと。（第2回～第15回）前回の授業で配布した資料を読んで、自身の意見をまとめておくこと。
事後学修	2時間	（第1回）「生命」という言葉の意味を調べておくこと。（第2回～第15回）ノートを見直し、学習したことを整理すること。
フィードバックの方法	授業終了時に感想・質問を提出し、質問には、次週の授業開始時に答える。オンデマンド授業の場合は、コメント欄で答える。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	50%	論述問題の内容を評価する。
上記以外の試験・平常点評価	50%	感想・質問の提出状況を評価する。
補足事項	新型コロナウイルスの流行が終息していない場合、オンデマンド方式での授業を行う。その場合、定期試験は行わず、最終レポートをUNIVERSAL PASSPORTで提出してもらう。 最終レポートの論述問題のテーマ、ポイントについては、授業中に伝える。 平常点は、毎回の授業終了後に提出する「感想・質問」の内容や、授業への参加度などで評価する。	

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
なし	なし	なし	なし	適宜、プリント配布する。
参考資料	『岐阜聖徳学園大学宗教学ノート』、總川祥美・河智義邦著、丸善雄松堂、ISBN:978-4-8419-4002-2			